

仙台市議会議員（青葉区）岡部 恒司

仙台市議会活動レポート

令和5年第1回定例会報告

2023年 春号

ホームページは
こちらです↓

■発行人／岡部恒司

■ご意見ご要望は…〒981-0933 仙台市青葉区柏木2-4-16-501 TEL022-271-1770 <http://okabekeji-sendai.jimusho.jp>

今回の議会レポートは、令和5年第1回定例会報告です。

今定例会では、6千億円を超える過去最大の一般会計当初予算案を中心に審議され、6,146億5,100万円の令和5年度の一般会計予算案74件、議員発議条例2件、4病院の再編構想に関して、県が市など関係者に十分な情報開示や説明を行い、慎重に検討するよう求めた決議案も決議いたしました。

今回のレポートは、私、岡部が自由民主党の代表質疑に登壇した際の質疑と答弁の要点、予算等審査特別委員会での総括質疑の質疑項目、令和5年度の仙台市予算などを記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

令和5年第1回定例会 岡部恒司 代表質疑より抜粋

市政への信頼回復について

質問 昨年来、相次いで発生した不適切な事務処理によって、市政への信頼は大きく損なわれ「いったい市役所の仕事はどうなっているのか」との厳しい声をいただいている。まさに「信なくば立たず」であり、信頼回復のための取り組みは待ったなしの状況だ。

また同じようなミスを繰り返す事はもはや許されない。そうした危機感が本当に全庁で共有されているのか。市長は、先頭に立って改革を進めると述べているが、改めて再発防止に向けた市長の決意を伺う。

答弁 職員一人ひとりが当事者意識を持ってこの問題に真摯に向き合い、市民の皆様方の為に正しく業務を遂行するという使命感を抱き仕事にあたるよう、私自身様々な機会を捉え職員に伝えていく。



また、職場内コミュニケーションの活性化やDXの活用など、実効性のある再発防止策に早急に取り組んでいき、信頼の回復に向けて全力を尽くしていく。

コロナ後の時代における本市の目指す方向性と市政運営について

質問 市長は、アフターコロナの時代に向け、本市が目指す方針をどのように描き、市政の舵取りをしていくつもりなのか。

答弁 変化する世界の潮流を的確に捉えながら、東北から日本の未来を創るという決意のもと、本市が絶えず新たな挑戦を重ねていく姿勢こそが重要と考えている。

本市には、世界的な研究機関や高度な都市機能、また緑豊かな環境や世界に誇る防災力、そして多くの若者が生み出す知恵の力が集積している。

本市の強みや魅力を、最新のデジタル技術などを活用し磨き上げ、域外から人や投資を呼び込み、世界から選ばれ続けるまち・仙台を創り上げていく覚悟だ。



令和5年度当初予算案と財政見通しについて

質問 当初予算としては本市初となる6,000億円を超える規模となった。新年度予算に対する市長の思いについて伺う。

答弁 令和5年度は、大きな飛躍への転換点となる年としなければならない。「ひとが輝く、デジタル化の推進」を始め、3つの分野に予算を重点的に配分した。

目指すべき未来に向けた着実な一歩を踏み出すため、必要となる施策に予算を措置した。

■全体予算規模

	令和5年度	令和4年度	増減額
一般会計	6,147億円	5,929億円	+218億円
特別会計	3,203億円	3,151億円	+52億円
企業会計	2,541億円	2,296億円	+245億円
合計	1兆1,891億円	1兆1,376億円	+515億円

※一般会計における復旧・復興事業費は51億円

質問 財源確保に向け、事業の厳選重点化、既存事業の見直しはもちろん、歳入面でも、国・県からの予算獲得や民間活力の導入など、あらゆる方策を検討し、全庁的に進めていく必要がある、如何か。

答弁 今後10ヵ年で約3,732億円の収支不足が見込まれ、財政運営の持続性の確保が引き続き課題であると認識している。

加えて、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設や市役所本庁舎といった、本市におけるまちづくりの要ともいえる基盤の整備を着実に実施していくことも重要である。効果的な整備手法の導入や事業費の抑制に加え、国費や基金等を最大限に活用するなど、財源の確保に取り組んでいきたい。

本市のデジタル化について

質問 市長が掲げる「フルデジタルの市役所」の意味、デジタル化に臨む本市職員の育成、組織のあり方についてどう取り組もうとしているのか。

答弁 自治体のデジタル化は先端技術の導入にとどまらず「ひと」を中心にすえ、暮らしやすさの実現や、新



な価値の創出につなげることが肝要なものと認識している。「フルデジタルの市役所」は「ひと」中心のデジタル化を目指すもので、新年度はデジタル技術の利活用支援を行う部署新設による現場への伴走支援強化、区役所窓口のデジタル化に向けた担当の配置等を行うこととしている。

質問 「書かない窓口」の導入や、オンライン手続きの環境の充実等は、どのように市民利便性が向上するのか。

答弁 マイナンバーカードから、住所、氏名、生年月日、性別を読み取り、住民異動届や証明書等各種申請書に転記するシステムを導入し、区役所にお越しになる市民の皆様の利便性が向上するものと考えている。

子ども・子育て支援について

質問 市長は市政方針において「子育てが楽しい街・仙台」を実現すると宣言した。どんな街なのか市長の考えを伺う。

答弁 子育てを応援する機運を社会全体で高め、子どもの成長をすべての人が喜び、子育ての楽しさを実感できるまちづくりの実現を考えている。

質問 こども財団について、何を指して何をするために新たに財団を作るのか。

答弁 子ども・子育て支援団体等とのネットワークの要となる役割などを中心にすえ、民間企業の皆様との連携・協力によって、地域社会全体で子育て応援の機運醸成を図るなど、人脈やノウハウの蓄積が強みとなる財団の設立が必要であると考えた。



夜間中学について

質問 新年度に開設する夜間中学は東北で初めてということもあり多方面から期待と注目がある。本市としての夜間中学の設置の意義を伺う。

答弁 様々な事情により、十分に義務教育を受けることができずに学齢期を経過した方々の学び直しの場として、義務教育を受ける機会を実質的に保障するものだ。学びたいという意欲に応える夜間中学となるよう、安心して学べる環境を整えていきたい。

令和5年春、東北に初めて公立の夜間中学ができます。



スタートアップ推進と経済成長について

質問 スタートアップ支援について本市の経済を取り巻く状況を見ると、市内企業のうち支店の割合が政令指定都市の中で最も高く、市内事業所の所得が本社等のある市へ流出している。本市は産学官金連携でスタートアップ支援に取り組んできたこと承知しているが、これまでの成果や課題について伺う。

答弁 本市が持続的な経済成長を図るには、東北大学発スタートアップのさらなる輩出や次世代を担う人材の育成に向けて、次元の異なる施策が必要であると強く感じた。

世界への飛躍を目指すスタートアップの輩出・成長に向けた新たな取り組みを展開していく。

ナノテラスについて

質問 ナノテラスは、わが国の産業競争力強化はもちろんのこと、付加価値の創出や都市間競争における優位性の向上など、本市経済にとっても大変重要な施設だ。しかし地元企業からは「施設の利用イメージがわからない」といった声も聞かれる。さらなる周知啓発が必要と考えるが如何か。

答弁 ナノテラスは、日本の科学技術、産業技術の振興に重要な役割を果たすとともに、東北地域のものづくり産業の起爆剤となるこ



とが期待されている重要な施設だ。令和6年度の本格活動に向け、周知活動の強化や、専門家による技術相談体制の構築を図る予定だ。

観光振興について

質問 観光分野は、宿泊、飲食、交通、物販など裾野の広い産業であり、経済の再生に向けては観光を中心とした交流人口の回復・拡大が不可欠だ。

新年度を「観光再生元年」とした市長の思い、意図について伺う。

答弁 インバウンドを含めた観光の再生を、地域経済活性化の起爆剤としていく必要があると考え、新年度を「観光再生元年」と位置づけた。

新年度は全国都市緑化仙台フェア、G7仙台科学技術大臣会合が開催されるなど、本市にとって極めて重要な一年となり、私自身先頭に立って地域の皆様とともに仙台・東北の魅力国内外に強力に発信していく決意だ。

質問 インバウンドも含めた今後の観光戦略について伺う。

答弁 民間事業者と連携し、多彩な観光資源の磨き上げに力を入れ、それらを緑化フェアなどの大型イベントとも連動させながら効果的に発信していく。また、首都圏はもとより国内の主要な就航地でのプロモーションを



仙台市の観光地まとめ

実施していく。

さらに、重点市場であるタイへも訪問し、仙台・東北の魅力を直接アピールしていく。

G7仙台科学技術大臣会合について

質問 今回のG7会合は、ナノテラスをはじめとする最先端の学術資源や、それを生かした本市のまちづくりなどを強くアピールする絶好の機会だ。どのようにして地域活性化の起爆剤としていくのか伺う。

答弁 東北大学をはじめとした最先端の学術資源の存在や、それを活用した本市のまちづくりを強くアピールし、国内外から投資を呼び込むほか、東北各県の技術力に優れた企業の取り組みも紹介するなど、ビジネス面でのポテンシャルも発信していく。



青葉山エリアの今後について

質問 青葉山エリアが「集客装置」として国内外から多くの人を惹きつけ、仙台の発展を牽引していくという視点が不可欠だ。ビジョン実現に向けた取り組みは如何か。

答弁 エリア内外の関係者や大学等の様々な主体と目指すべき方向を共有し、全体としての取り組みを進めていくことが重要だ。関係機関が連携を密にしながら具体的な取り組みを展開していく枠組みの構築について検討していく。

質問 青葉山エリアで進められているプロジェクトの中でも極めて重要なのが、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設整備だ。懸念される社会経済状況だが、現時点でどの程度の整備費用が必要との考えか。

答弁 現時点で見込まれる整備費用は1平方メートルあたり約105万円と考えられる。音楽ホールが30,000平方メートル、中心部震災メモリアル拠点が3,000平方メートル、合計33,000平方メートルであり、約350億円となるほか、別途経費も必要となる。

全国都市緑化仙台フェアについて

質問 多くの市民に参画してもらい「百年の杜づくり」を次世代へとつなぐ契機にすべきと考えるが、どのような市民参加を図りながら準備を進めていくのか伺う。

答弁 市民参加での大花壇春植えイベントを実施するほか、会期中には多くのボランティアに協力をいただいて来場者におもてなしをするなど、引き続き市民の皆さんと共に取り組んでいく。



都心の活性化について

質問 街の魅力を創出し、人を呼び込むためには都心のさらなる活性化は欠かせない。引き続き施策が活用できる環境を整えるなど、新たな開発が生まれるよう力を入れていく必要があると考える、如何か。

答弁 プロジェクトの活用事例の情報発信や、各施策の周知・浸透などにより、開発の機運を高めていく。

また、新規の開発が企業立地に結びつく好循環につなげていくことが重要で、都心部での開発が連鎖的に展開していくよう力強く後押ししていく。

質問 仙台の顔である青葉通駅前エリアにおいて、どんなビジョンを作っていきたいと考えているのか伺う。

答弁 このエリアならではの賑わいや、新たな魅力を生み出すことを最も重要な視点としながら、円滑な交通への配慮や沿道開発と連携した一体的な魅力づくり、回遊起点とすることなど様々な観点から検討を進めていく。

質問 勾当台公園は、多くの市民に親しまれているが、現在の形に整備されてから30年以上が経過し、老朽化も見られることから再整備を行うこととしている。その検討状況は如何か。

答弁 勾当台公園は本庁舎の建て替えに合わせ、本市中心部のさらなる賑わいづくりや公園の価値向上を目的に再整備することとしている。今後パブリックコメントを実施し、次年度当初には基本計画を取りまとめる予定だ。

質問 定禅寺通りエリアの活性化はまさにこれから勝負どころで、どう進めていくのか。また、県民会館跡地は定禅寺通りの活性化のみならず都心の回遊性を考える上で極めて重要な場所だ。

勾当台・定禅寺通りエリアの将来にわたる活性化に向け今後どう進めていくのか、市長の考えを伺う。

答弁 県をはじめ経済界や地域の皆様と意見交換を重ねながら活性化の取り組みを推進し、市民の皆様はもとより内外からの来訪者にも愛される場所へと進化させ未来へと引き継いでいきたい考えだ。



脱炭素都市づくりについて

質問 杜の都である本市が、森林を伐採してメガソーラーを推進するといったような事はふさわしくないと考える。本市の脱炭素都市づくりに向けたこれまでの取り組みと今後の方向性について伺う。

答弁 本市の温室効果ガス排出量の構成比を見ると、全国と比較して家庭部門や業務部門からの排出割合が高いという特徴があることから、新年度は家庭の脱炭素を応援する各種施策をパッケージ化して打ち出すほか、中小事業者への設備導入支援などにも力を入れていく考えだ。



**脱炭素
まちづくり
カレッジ**

新型コロナウイルス感染症について

質問 5月8日から感染症法上の取り扱いを季節性インフルエンザと同様の5類感染症に位置づける方針を決定した。市長はどう評価しているのか。また、医療機関や保健所等にも影響があると思うが、どう対応していくのか伺う。

答弁 ウイルスの病原性や感染力など、これまでの知見に基づいた判断であると認識しており妥当な判断であると考えている。

市民の皆様の不安や医療機関における混乱を招くことがないように、県や市医師会等関係機関と連携し適切な対応に努めていく。

新型コロナウイルス感染症情報
感染症対策をお願いします

4病院の再編の問題について

質問 「年度内の基本合意」という形にとらわれず時間をかけて進めていくべきと考えるが、県の進め方についての見解と今後の対応について伺う。

答弁 移転再編が仙台医療圏にとって真に政策医療の課題解決につながるものとなるのか、十分な時間をかけて丁寧に進めていくことが大切であると考えている。

県には、まずは市民や医療関係者に対する説明を行い理解を得られるよう努めるとともに、現在の状況下で急ぎ結論を得ようとすることなく、慎重な検討を行うよう、重ねて求めていきたい。

4病院の2拠点化構想

4病院再編構想「医療体制に影響」
仙台市が県に反対文書を提出

名取市に統合
富谷市に集約

防犯カメラ設置等補助事業について

質問 防犯カメラは被害の未然防止に有効とされ犯罪抑止効果を期待できる。防犯カメラの設置を推進し犯罪が起こりにくい環境を作る事は安心・安全な地域を実現するために重要だ。

地域の子供や女性が犯罪被害となるような事態を防ぐためにも、防犯カメラの設置等への補助制度は大いに活用されるべきだが如何か。

答弁 凶悪事件の発生などによりお問い合わせが増えるなど、設置に関心を持つ地域は少なくないと認識している。

一方、具体の設置実績については設置場所の検討や資金の用意も含めた合意形成が必要であり、それらが整った上での申請となる結果、年間20台程度となっている。

質問 制度利用には地域の団体の方々から見たときに高いハードルがある。本気で地域における防犯活動を支援し犯罪が起こりにくい環境の整備を進めようという考えならば、団体が活用しやすい制度となるよう



補助内容の拡充や申請手続きの簡素化、サポートの強化など検討を行うべきと考える。地域を守るための防

犯カメラの設置推進への考え、現在の補助制度の課題や見直しの必要性に関する認識を伺う。

答弁 事前申請の廃止や大幅な簡素化を行っていききたい。地域の皆様の負担をできるだけ軽減するよう努めていききたい。

今後の補助のあり方についても検討を進め、引き続き地域の皆様とともに防犯カメラの設置がより進むよう努めていききたい。

不登校支援について

質問 不登校児童生徒が増加している原因をどう捉えているのか伺う。

答弁 学校での生活や家庭環境など、様々な要因が複合していることが多く、また新型コロナウイルス感染症の拡大による生活習慣や学校における交友関係の変化も少なからず影響していると捉えている。



令和5年第1回定例会 予算等審査特別委員会「総括質疑」

- 4病院の再編
- 市役所窓口などデジタル化
- 子ども・子育て支援
- 観光再生・インバウンド
- 緑化フェア
- SDG's
- 清掃工場
- 持続可能な財政基盤構築
- 区役所電子入札
- 今後の建築業のあり方

仙台市長、タイ訪問

来月末から訪日客誘致へ売り込み

郡和子仙台市長は10日、タイの首都バンコクを4月29日～5月3日に訪問し、インバウンド(訪日客)の誘致に向けたトップセールスを行うことを明らかにした。市議会予算等審査特別委員会の総括質疑で、岡部恒司議員の質問に答えた。

市は新年度一般会計当初、新たな有力市場として、

新型コロナウイルスの流行前に訪日客が増えていたマレーシアなどを加える意向も表明。「東北全体の訪日客の拡大を図りたい」と意欲を見せた。

また、岡部氏は印鑑登録証明書について、マイナンバーカードがあればコンビニで入手できるが、区役所窓口では印鑑登録証がないと発行されない点を指摘。「市民の利便性を考えればカード1枚で申請できる方がよい」と問題提起した。

天野元・市民局長は市印鑑条例の改正やシステム改修の必要性といった課題を挙げ、「技術的な課題を整理し、対応できるように早急に取り組む」と述べた。

3月11日地元紙より

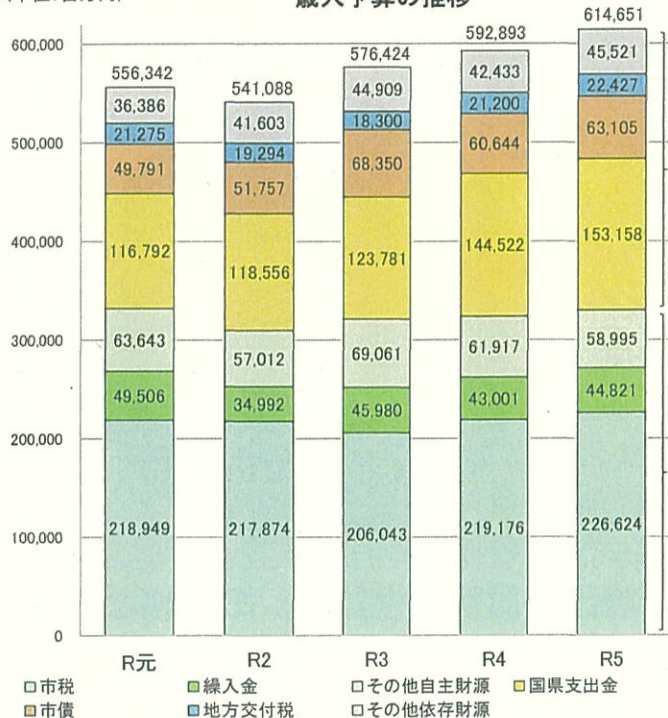
令和5年度仙台予算概要

歳入予算額の推移と内訳

○市税収入は、土地に係る軽減措置終了等による固定資産税などの増加により、前年度に比べて74億円増加。
○国庫支出金は、社会資本整備総合交付金などの増加により、前年度に比べて56億円増加。

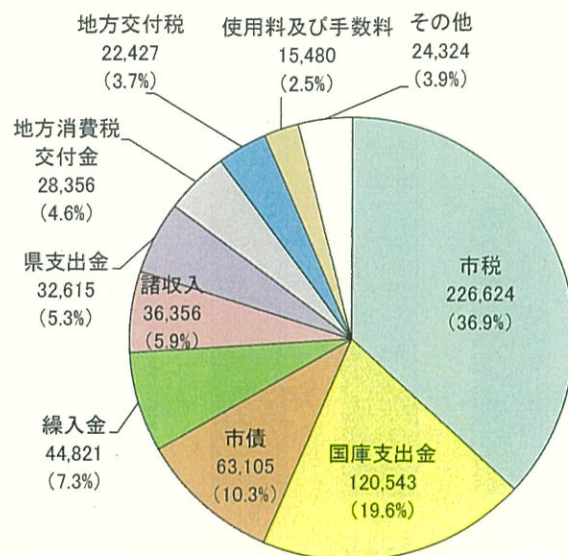
(単位:百万円)

歳入予算の推移



R5年度 歳入予算の内訳

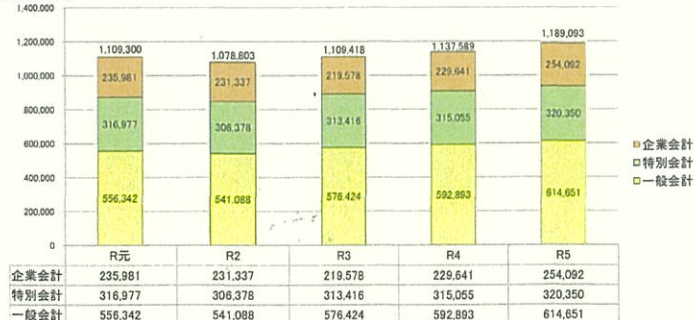
(単位:百万円)



総額(全会計)の推移

- 一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算は1兆1,891億円で、前年度に比べて515億円増加し、引き続き1兆円を超える高い水準。一般会計では、新型コロナウイルス感染症対策費や市営住宅建設費などの増加により、前年度に比べて218億円増加の6,147億円と、当初予算では初めて6,000億円を超える予算規模に。
- 特別会計は、公債管理特別会計における公債費などの増加により、前年度に比べて52億円増加の3,203億円。
- 企業会計は、ガス事業における原料費などの増加により、前年度に比べて245億円増加の2,541億円。

(単位:百万円)



みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら
お気軽にお知らせください。

●仙台市政に対してのご意見を一言お願いいたします。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

仙台市議会議員 **岡部恒司**

☎お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

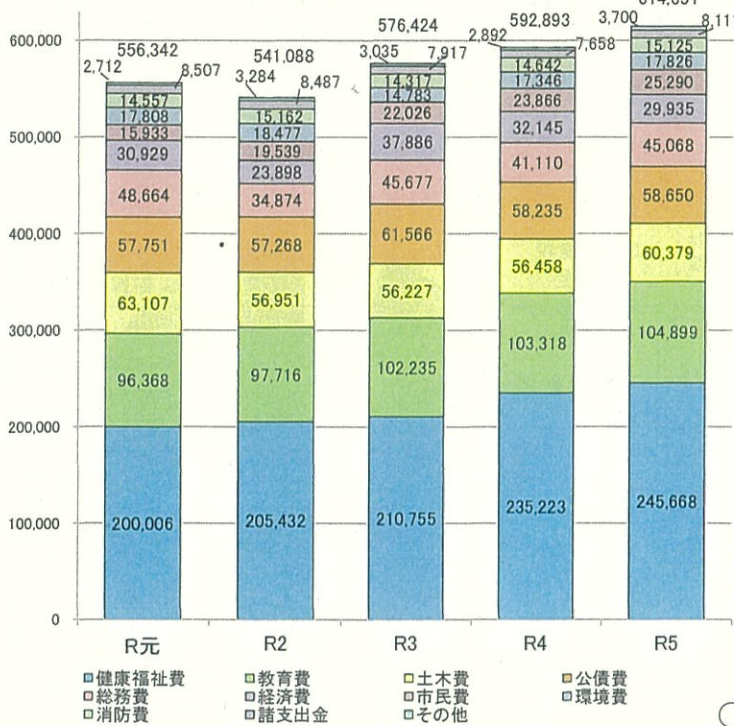
FAX 022(271)1786

歳出予算額(目的別)の推移と内訳

- 健康福祉費は、新型コロナウイルス感染症対策費などの増加により、前年度に比べて104億円の増加。
- 経済費は、中小企業融資預託金などの減少により、前年度に比べて22億円の減少。

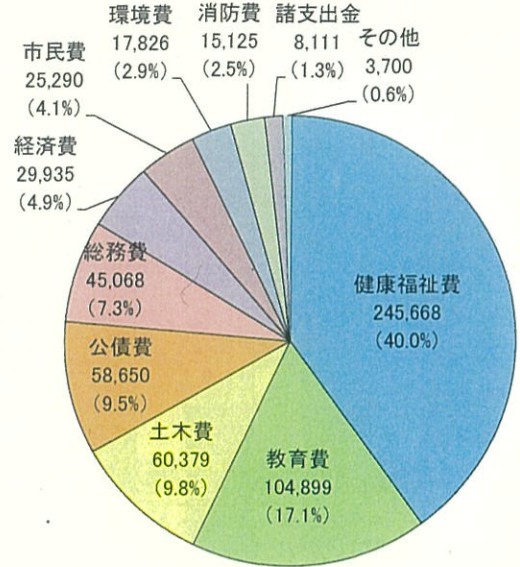
(単位:百万円)

歳出予算(目的別)の推移



R5年度 歳出予算(目的別)の内訳

(単位:百万円)



歳出予算額(性質別)の推移と内訳

- 人件費、社会保障関係費といった扶助費、借入金の返済である公債費を合わせた義務的経費は、扶助費と公債費は増加しているものの、職員の定年延長による、退職手当を含む人件費の減少などの影響により、前年度に比べて34億円の減少。
- 投資的経費は、鶴ヶ谷第二市営住宅団地の建て替えに係る経費などが増加したことにより、前年度に比べて100億円の増加。

郵便はがき

9 8 1 0 9 3 3

岡部恒司行

仙台市議会議員

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号501

投函される場合は、恐れ入りますが、52円切手を貼付してご投函お願いします。

ご住所	お名前
※是非ご記入ください。	
様	

みなさんの声で
住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。
または、お電話・FAXでも承ります。

TEL 022(271)1770
FAX 022(271)1786